

折に触れ 四字熟語

NO. 77 『遠慮近憂』 えんりょ きんゆう

< 意味 > 遠い将来のことまで見通した深い考えをもたないでいると、必ず手近なところに身にさし迫った心配事が起こること。

< 出典 > 「論語」<衛霊公>

「子曰、人無遠慮、必有近憂。」

読み下し：『子曰く、人、遠き^し慮^は無きときは、必ず近き^う憂^あ有り。』

通 釈：孔子言う、もし人が、遠い将来を見通したり、広く周囲を見廻わしたりして深い思慮をめぐらしておかないと、必ず手ぢかなところに身にさし迫った心配事が起って来るものである。

語 釈：「遠慮」は先々まで見通した深い考え、配慮のこと。「近憂」は身近に迫った心配事の意。

一 言：論語シリーズその6

トランプ大統領と金正恩委員長との首脳会談は果たして6月12日に行われるのでしょうか、世界が注目しています。また、トランプ大統領は5月8日には、2015年に米英仏独口中の6カ国とイランが結んだ核合意からの離脱を表明しました。トランプ大統領の決断が世界の平和のために正しいのかどうか心配は尽きません。

参考文献：大修館書店・諸橋轍次著「論語の講義」三省堂「四字熟語辞典」